

2013 年度前期授業アンケートまとめ

1. 2013 年度前期授業アンケート結果の概要

1-1. 2013 年度の実施趣旨と従来との変更点

【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が、個別に授業改善を行うための資料および教育自己点検・評価活動のための資料を得る。
- (2)教員相互に関係科目の改善について課題を共有し、改善を行う資料とする。また、アンケート結果を起点として、組織的に教育改善に取り組む機会を提供する。
- (3)授業運営の学生参画の必要性を意識し、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るための資料を得る。
また、学生の積極性と責任意識を喚起する機会を提供する。
- (4)学部・学科としてのカリキュラム改善のための資料を得る。
- (5)大学全体として教育力の向上に必要な点検資料を得る。

【従来との変更点】

上記実施目的に大きな変更点はないが、設問設定や回答方法について、これまでの「全科目共通設問項目」設定方式から、授業単位での教育目標に沿って設問内容を設定した点が大きな変更点である。

1-2. 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は2013年度前期および夏期・秋期集中開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生とした。大学院生については、各授業担当者により自由記述のみの回答用紙を配布回収し、集計・統計等には反映させないこととした。

1-3. 調査期間

【前期】2013年7月1日(月)～7月26日(金)

【夏期・秋期】2013年8月2日(金)～9月19日(木)

アンケートは授業時間を15分ほど利用し、学生所有の携帯電話、スマートフォン等を利用して、Web上での回答とした。授業内に携帯電話、スマートフォン等を利用できない学生については、授業終了後、当日中に、PC教室等から回答するよう指示した。

*2013年度前期の回収率(回答者延数/受講者延数)は全体で63.75%となった。

1-4. 調査設計

調査項目の基本構造については、前年度と大きく変更した。

- (1) 授業の教育目標に準拠した選択項目/全科目共通項目3項目と各授業単位で指定した項目
- (2) 授業についての自由記述/4項目

上記調査項目(1)、(2)ともにWeb回答を採用し、データ処理を行った。

授業科目単位での集計結果および自由記述は、教学向上を目的に、授業担当者(オムニバス等の科目については担当者全員)が閲覧し、教員コメントをWeb上から入力してもらう方式にした。

*データ分析・まとめは授業科目単位で実施し、科目群の加重平均を出すこととした。

2. 2013 年度前期授業アンケート結果の特徴と傾向

集計は、各科目単位で実施した。

全体平均値は、「基礎教育科目群」「教養教育科目群」「資格・キャリア科目群」、および各学科(ただし、日本語日本文学科は「日本語日本文学コース」と「書道コース」、現代マネジメント学科は「現代マネジメントコース」と「救急救命コース」のコース別)それぞれの「専門教育科目群」ごとに集計した加重平均(回答内容を加重平均で点数化)とした。(とてもそう思う:5点、まあそう思う:4点、どちらともいえない:3点、あまりそう思わない:2点、まったくそう思わない:1点)

各科目が対応する「該当科目群」の加重平均と比較する集計表およびグラフを作成した。

(全①-2 の設問を除く)

2-1. 学科・コース別科目群等分析 別紙資料:P1~16

【全体】

「予習・復習を行った」(事前事後学習)は、全体平均値 3.32 で、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は 49.24%である。「積極的に授業に参加した」は、全体平均値 4.11 で、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は 80.38%である。「予習・復習を行った」と思わない(「どちらともいえない」を含む)学生の比率が過半数を超えているのに比して、「積極的に授業参加したと思う」学生の比率がかなり高い結果となっている。

【基礎教育科目群】

基礎教育科目に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、教①84.44%、教②71.71%、教④62.17%、教⑤51.18%、教⑥55.07%、教⑦79.73%となっている。教⑤課題解決能力(51.18%)、教⑥論理的思考能力(55.07%)が他の設問項目より低い数値となっている。

【教養教育科目群】

教養教育科目に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、教①78.40%、教②64.41%、教③72.17%、教④74.81%、教⑤63.39%、教⑥55.81%、教⑦60.72%となっている。教⑥論理的思考能力(55.81%)、教⑦コミュニケーション能力(60.72%)が他の設問項目より低い数値となっている。

【資格・キャリア科目群】

資格・キャリア科目に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、教①83.17%、教②74.84%、教③66.41%、教④62.96%、教⑤66.99%、教⑥62.79%、教⑦63.82%となっている。70%未満の数値を示している設問内容は、教③価値形成能力(66.41%)、教④異文化理解能力(62.96%)、教⑤課題解決能力(66.99%)、教⑥論理的思考能力(62.79%)、教⑦コミュニケーション能力(63.82%)となっている。

なお、本科目群の中に児童教育学科、都市環境デザイン学科の設問科目が集計されているのは、同一科目であっても、新カリキュラムと旧カリキュラムにおいて配当科目群が違っているものについて、新カリキュラムの科目群に寄せたためである。

【日本語日本文学科 日本語日本文学コース科目群】

日本語日本文学コースに関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、日①86.38%、日②77.04%、日③68.62%、日④73.30%、日⑤73.43%となっている。日①日本語や日本文学に対する理解を深めることができた(86.38%)が他の設問項目に比べてもっとも高い数値を示している。

なお、本科目群の中に児童教育学科の設問科目が集計されているのは、同一科目であっても、新カリキュラムと旧カリキュラムにおいて配当科目群が違っているものについて、新カリキュラムの科目群に寄せたためである。

【日本語日本文学科 書道コース科目群】

書道コースに関わる設問事項の「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、日⑤86.59%、日⑥94.73%、日⑦93.23%と高い数値をしめしている。ちなみに、日⑤は「日本語や日本文学、書道を学ぶことを通じて、人間や人生の課題について理解を深めることができた」、日⑥は「書道に関して、より高度な知識や技法を身につけることができた」、日⑦は「書道を学ぶことを通じて、日本人の美意識や日本や中国の美術に対する理解を深めることができた」という設問内容となっている。

【歴史学科科目群】

歴史学科に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、歴①85.73%、歴②77.25%、歴③81.78%、歴④87.81%、歴⑤83.43%、歴⑥75.28%、歴⑦65.45%となっている。全体として高い数値を示している。ただし、歴⑦総合的かつ探求的な学習を通じて、現代社会を生きる人としての力を形成することができた(65.45%)が他の項目と比べて低い数値となっている。

【文化財学科・歴史遺産学科科目群】

文化財学科・歴史遺産学科に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、遺①83.58%、遺②61.33%、遺③67.08%、遺④77.09%、遺⑤67.65%となっている。遺①文化遺産に関する幅広い知識を学ぶことで、人類文化の多様性と普遍性を理解することができた(83.58%)がもっとも高い数値となっている。その他の設問項目は他の科目群と比して若干低い傾向となっている。

【児童教育学科科目群】

児童教育学科に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、児①96.10%、児②86.88%、児③81.85%、児④86.63%、児⑤78.78%となっている。全体として高い数値を示している。児①子どもについての理解が深まり始めた(96.10%)は、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」との回答が0%であることも含めて、かなり高い数値を示している。

【英語コミュニケーション学科科目群】

英語コミュニケーション学科に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、英①78.43%、英②68.65%、英③63.79%、英④86.66%、英⑤67.65%、英⑥60.30%、英⑦82.35%となっている。英④多文化理解プログラムを通して異文化コミュニケーション能力を強化することができた(86.66%)が最も高い数値となっている。

なお、本科目群の中に児童教育学科の設問科目が集計されているのは、同一科目であっても、新カリキュラムと旧カリキュラムにおいて配当科目群が違っているものについて、新カリキュラムの科目群に寄せたためである。

【現代マネジメント学科 現代マネジメントコース科目群】

現代マネジメントコースに関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、マ①60.32%、マ②64.74%、マ③54.45%、マ④50.62%、マ⑤47.14%となっており、他科目群と比べて低い傾向にある。なかでも、マ⑤研究活動に参加する中でマネジメント手法、リサーチ方法を体得することができた(47.14%)とする回答が半数を割っている。

なお、本科目群の中に救急救命コースの設問科目が集計されているのは、同一科目であっても、新カリキュラムと旧カリキュラムにおいて配当科目群が違っているものについて、新カリキュラムの科目群に寄せたためである。

【現代マネジメント学科 救急救命コース科目群】

救急救命コースに関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、救①95.52%、救②66.66%、救③83.91%、救④78.05%、救⑤97.09%、救⑥81.25%となっている。救①医療従事者となるための自覚や意識を身につけることができた(95.52%)、救⑤基礎医学・専門医学知識を再構築し、救急救命士として総合的な観察力、処置能力を身につけることができた(97.09%)が他の設問と比べて高い数値を示している。

なお、本科目群の中に現代マネジメントコースの設問科目が集計されているのは、同一科目であっても、新カリキュラムと旧カリキュラムにおいて配当科目群が違っているものについて、新カリキュラムの科目群に寄せたためである。

【都市環境デザイン学科科目群】

都市環境デザイン学科に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、都①77.58%、都②74.51%、都③75.60%、都④73.06%、都⑤78.66%と、ほぼ各設問とも70%台の数値となっている。

【看護学科科目群】

看護学科に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、看①80.62%、看②73.88%、看③83.62%、看④72.58%、看⑤80.46%となっている。看②多彩な学問分野に触れ、知性と感性を育成することができた(73.88%)、看④異文化を理解し、人によりそう看護を実践できる能力を育成することができた(72.58%)が70%台で他の設問より若干低い数値となっている。

【理学療法学科科目群】

理学療法学科に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、理①96.07%、理②66.50%、理③77.45%、理④79.17%、理⑤73.53%となっており、理①理学療法士として真摯に他者に接する態度を身につけることができた(96.07%)が他の設問より高い数値となっている。

【心理学科科目群】

心理学科に関わる設問事項については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の回答の計は、心①81.01%、心②78.79%、心③72.50%、心④71.79%、心⑤70.23%、心⑥64.47%、心⑦85.29%となっている。心⑥心理学と医学・文化・芸術・哲学等の包括的な実践について考えることができた(64.47%)と他の設問項目に比して若干低い数値を示している。

なお、本科目群の中に児童教育学科、理学療法学科の設問科目が集計されているのは、同一科目であっても、新カリキュラムと旧カリキュラムにおいて配当科目群が違っているものについて、新カリキュラムの科目群に寄せたためである。

【参考資料】 事前事後学習時間についての集計表 別紙資料:P17～18

全②-2 あなたはこの授業について1回あたり平均で何時間学習しましたか。

3. 基本データ

3-1. 基本データ

Web 回答記入は、時間割開講曜日・開講時限、科目名・クラス、担当者データを選択し、授業登録学生のみ回答できるシステムとした。

3-2. 授業についての選択項目

教育目標に沿って授業科目毎に設定された項目について、
[1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もっともよくあてはまると思うもの一つのみ回答させた。

3-3. 授業についての自由記述項目

選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の4つの質問を設定した。

- ① この授業のどの点がよかったですか。
- ② この授業のどの点がよくなかったですか。
- ③ よくなかった点を改善するためにはどうしたらよいかと思いますか。
- ④ その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

3-4. 回答・集計方法

(回答) Web 上で、学生の ID/PW の設定を行い、授業登録者のみが該当授業の回答をするように制御した。

(集計) 集計後、授業担当教員に担当科目のアンケート結果を Web 上で閲覧できるようにし、コメントや受講者へのメッセージを依頼した。オムニバス科目等(複数担当者科目)については、該当教員全員が閲覧でき、コメント入力できるシステムとした。

3-5. 回答者のプロフィール

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

【回収率】

適用	
登録者数	36,493
有効回答数	23,263
有効回収率	63.75%

【実施講義数】

適用		
回答対象講義数	948	(3人以上の受講生)
集計対象回答講義数	779	(3人以上の回答数)
実施講義率	82.17%	

(参考:12 前期 81.27% 11 前期 77.85% 後期 76.95% 10 前期 78.28% 後期 76.39% 09 前期 77.72% 後期 74.89%)

* (有効回答数) = 期間内回答者数

* (有効回収率) = (有効回答数) / (登録者数)

【クラスサイズ別回収率】

回数 \ 回収率	100-91%	90-81	80-71%	70-61%	60-51%	50-41%	40-31%	30-0%	合計
1-10	26	11	7	8	3	3	4	1	63
11-20	26	23	24	26	11	11	9	10	140
21-30	39	35	37	9	15	6	6	17	164
31-40	29	33	32	10	11	2	6	9	132
41-50	24	8	15	10	4	5	2	5	73
51-60	22	6	2	3	5	8	2	5	53
61-70	1	0	6	5	3	1	1	0	17
71-100	7	11	8	14	4	4	3	9	60
101-150	9	16	10	11	4	6	0	7	63
151-	1	1	3	3	2	1	3	7	21
合計	184	144	144	99	62	47	36	70	786

